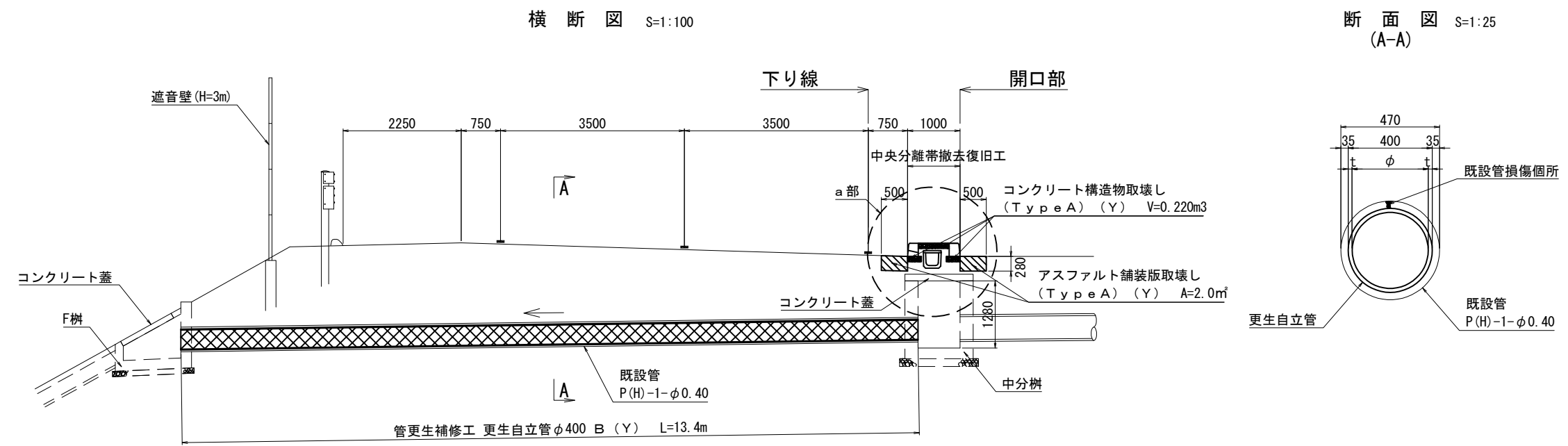
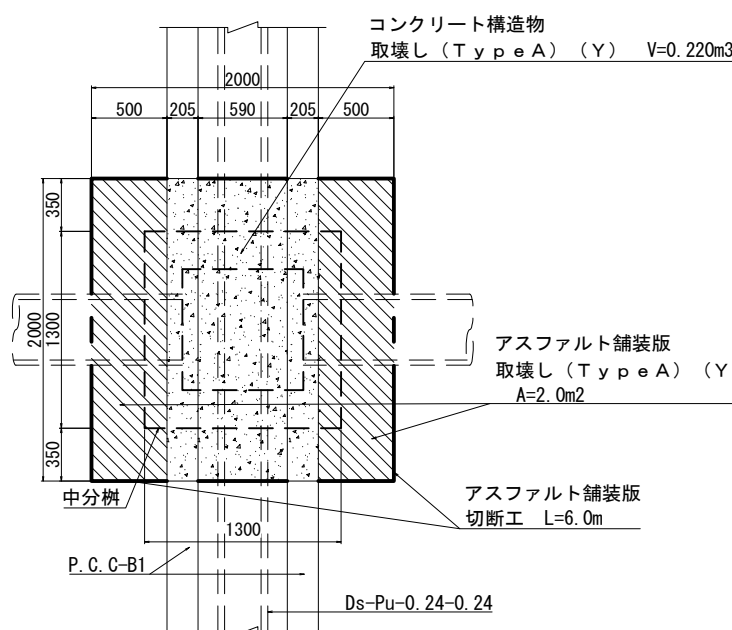


No. 54 詳細図(1)  
(下) KP248.38



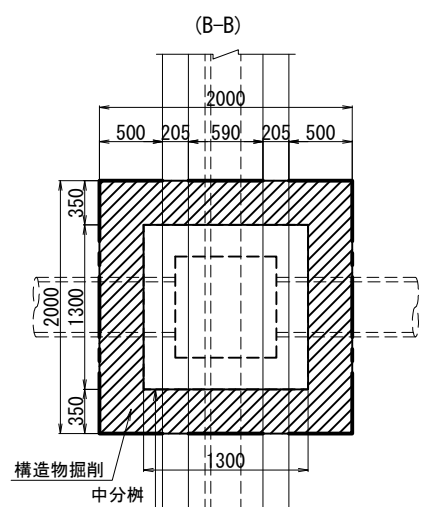
a 部平面図 S=1:100



No. 54数量表

項目	種別	形状	単位	数量	備考
構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し (Type A) (Y)	無筋構造物	m <sup>3</sup>	0.220	
	アスファルト舗装版取壊し (Type A) (Y)	t=280	m <sup>2</sup>	2.0	アスファルト舗装版切断工L=6.0m含む
中央分離帯撤去復旧工	(Y)		箇所	1	
管更生補修工	更生自立管φ400 B (Y)	許容更生材厚t=18.5	m	13.4	

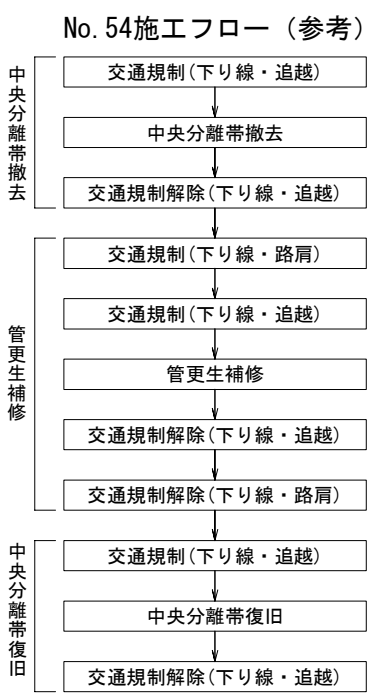
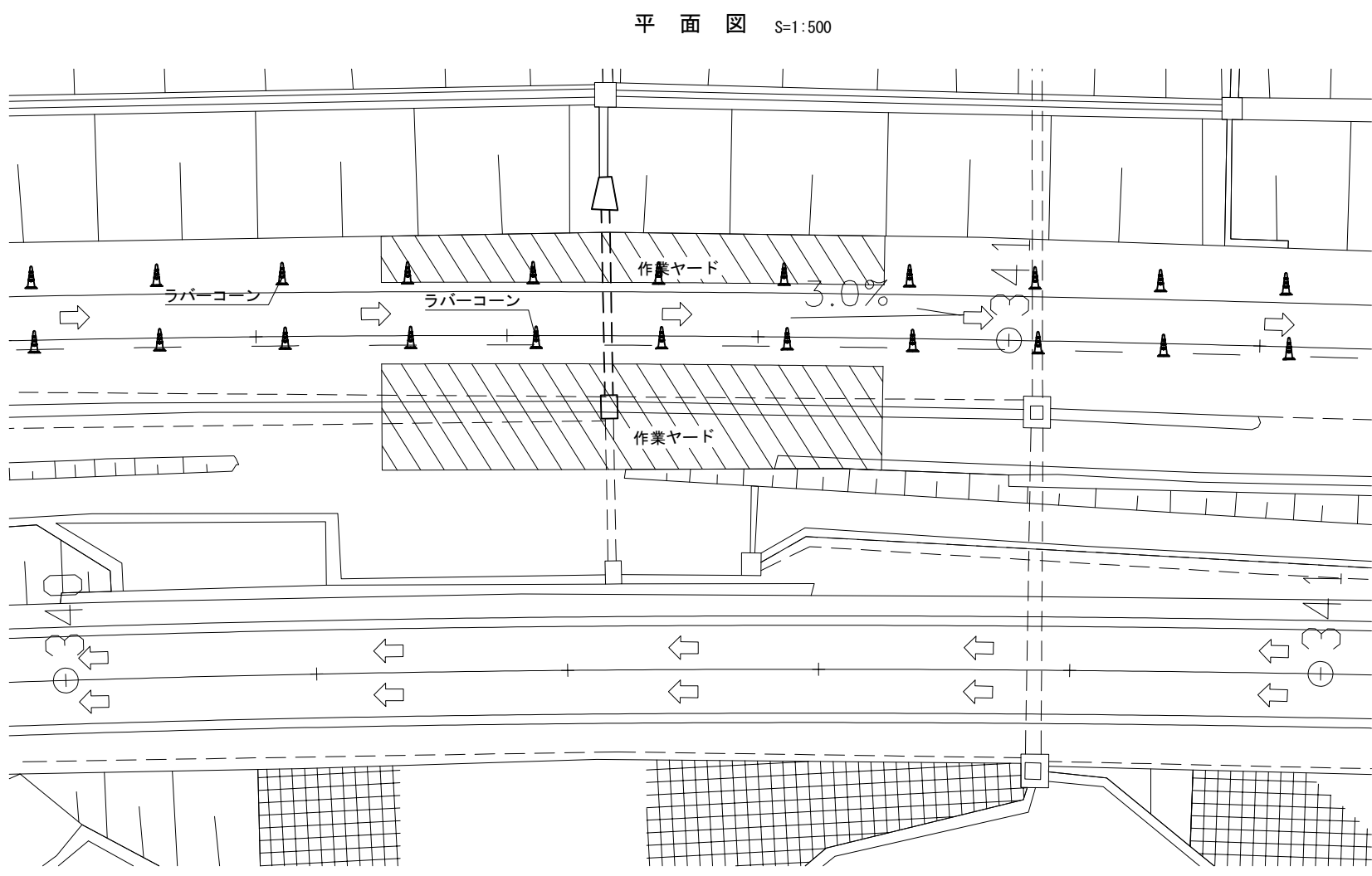
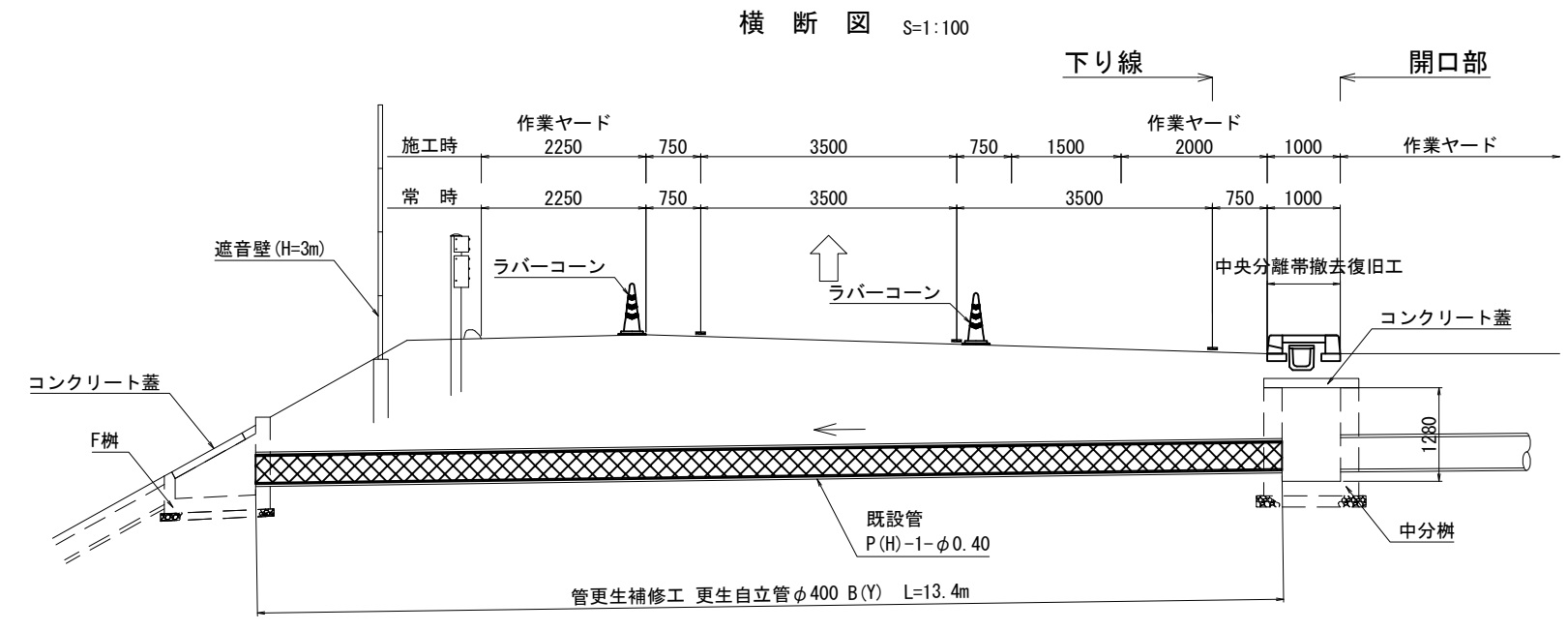
件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.54 詳細図(1) (下) KP248.38		
縮尺	図示	図面番号	25 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



1箇所当り

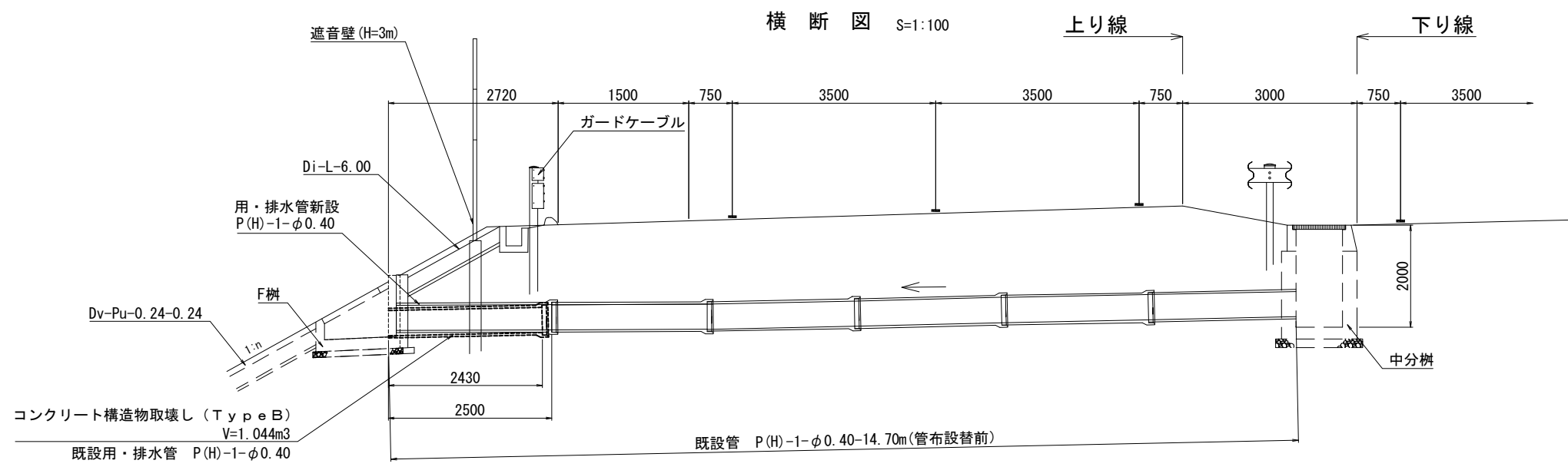
件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.54 詳細図(2) (下) KP248.38		
縮 尺	図 示	図面番号	26 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

No. 54 詳細図(3)  
(下) KP248.38  
管更生補修工

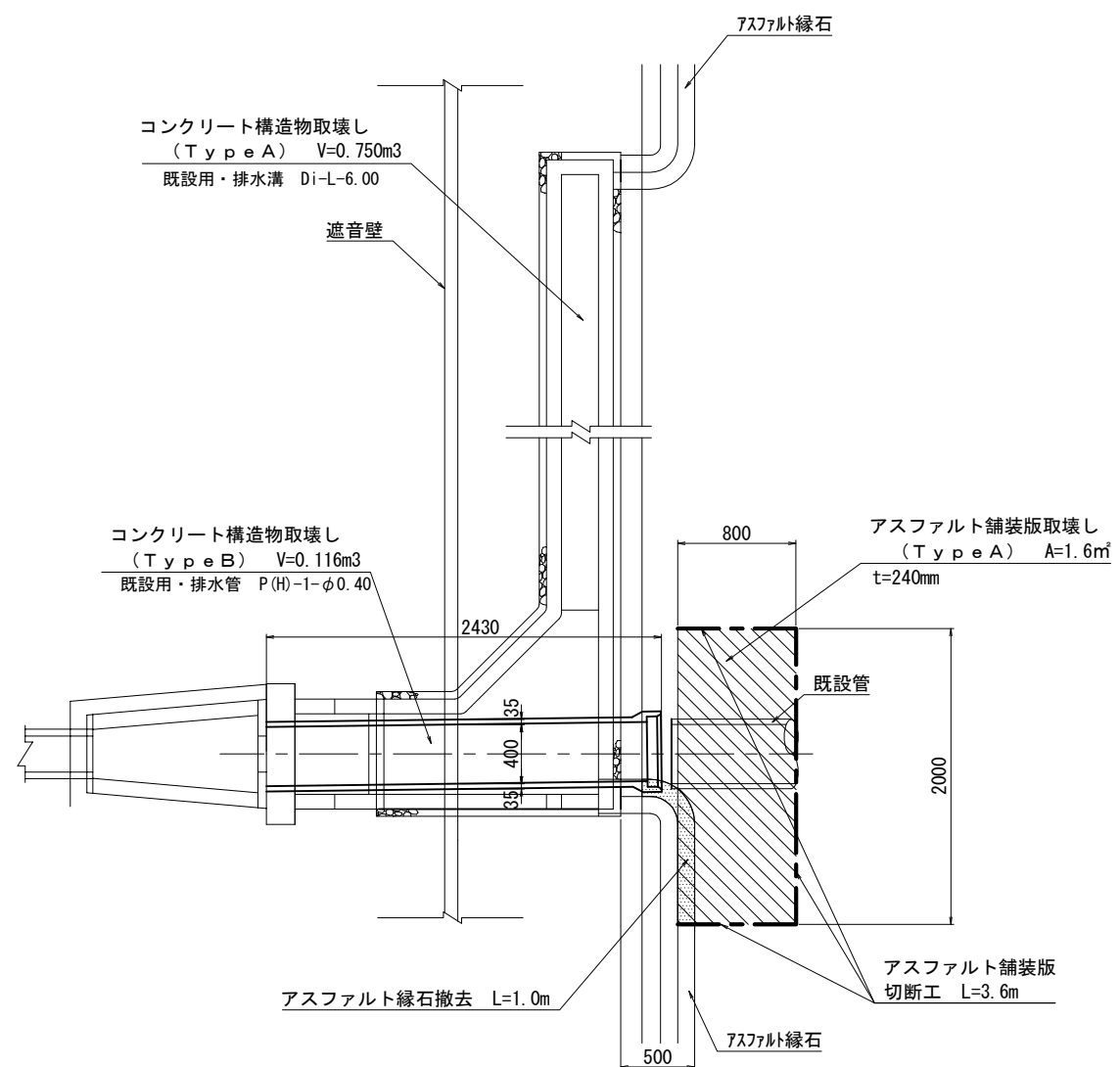


件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.54 詳細図(3) (下) KP248.38		
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

No. 107 詳細図(1)  
(上) KP293.26



平面図 S=1:50



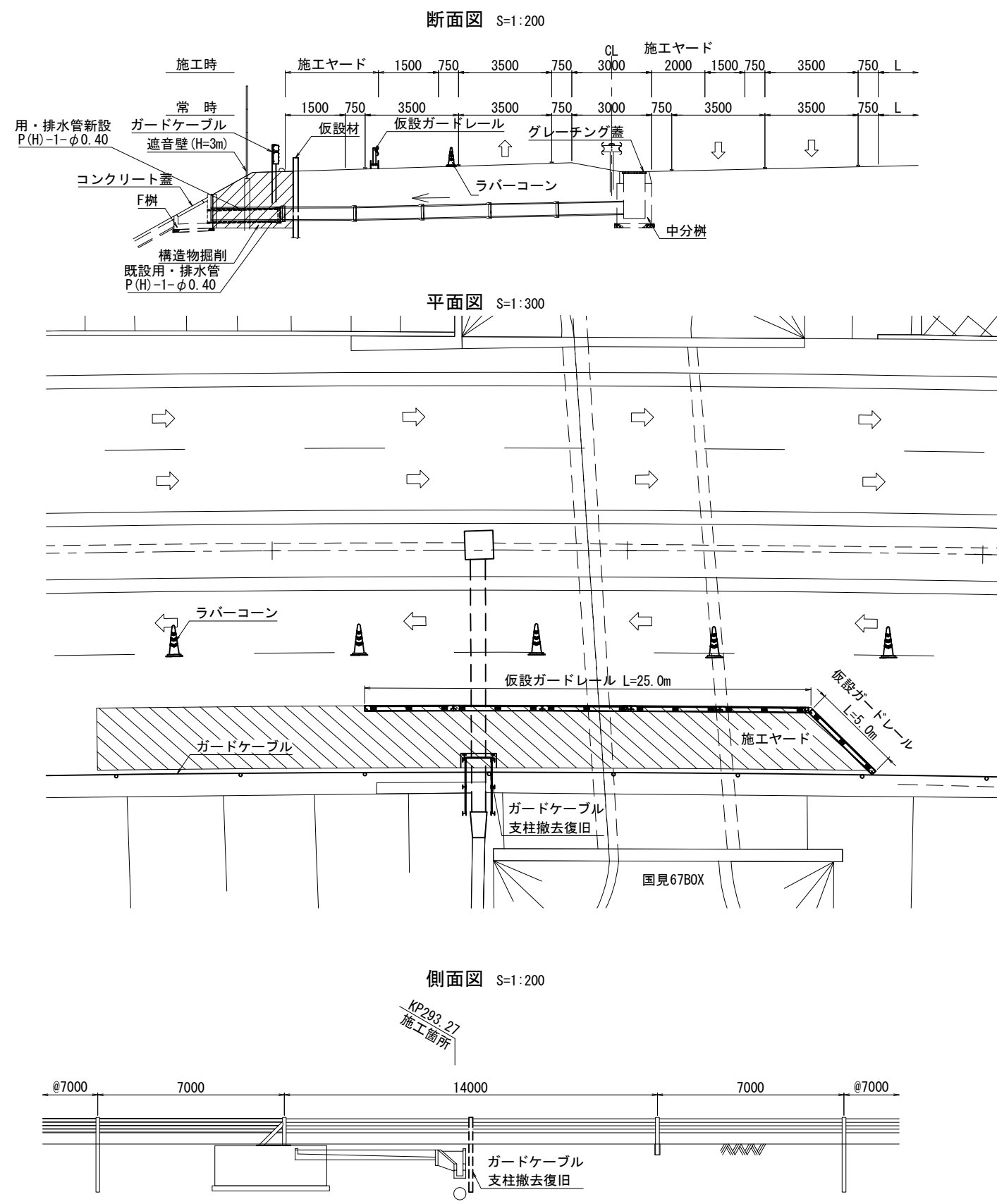
NO.107数量表

項目	種別	形状	単位	数量	備考
構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し (Type A)	無筋構造物	m <sup>3</sup>	0.750	既設用・排水溝 (Di-L-6.00)
	コンクリート構造物取壊し (Type B)	鉄筋構造物	m <sup>3</sup>	0.116	既設用・排水管 (P(H)-1-φ0.40)
	アスファルト舗装版取壊し (Type A)	t=240	m <sup>2</sup>	1.6	アスファルト舗装版切断工L=3.6m含む アスファルト縁石撤去L=1.0m含む
管布設替工		P(H)-1-φ0.40	箇所	1	管新設
管更生補修工	更生自立管φ400 B	許容更生材厚t=18.5	m	14.0	

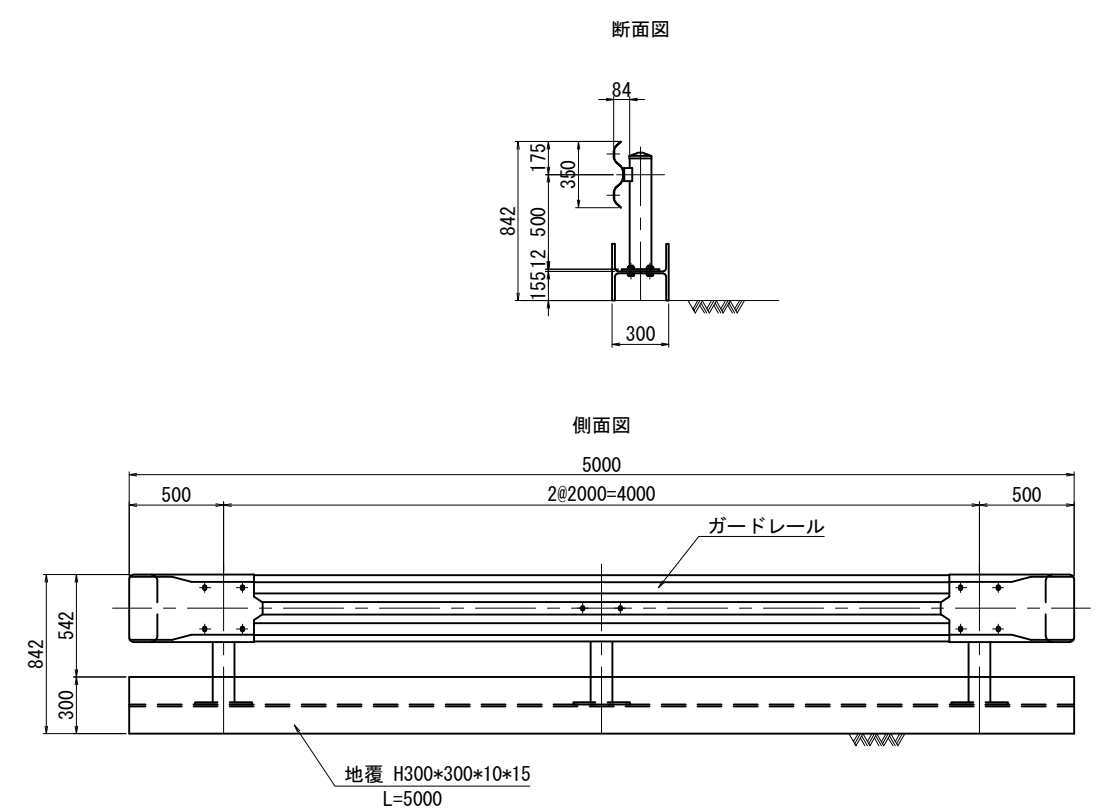
※既設用・排水溝及び排水管に要する掘削は、管布設替工に含める。

件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.107 詳細図(1) (上) KP293.26		
縮尺	図示	図面番号	28 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

No. 107 詳細図(2)  
(上) KP293.26  
管布設替工詳細図(1)



仮設ガードレール詳細図 S=1:50

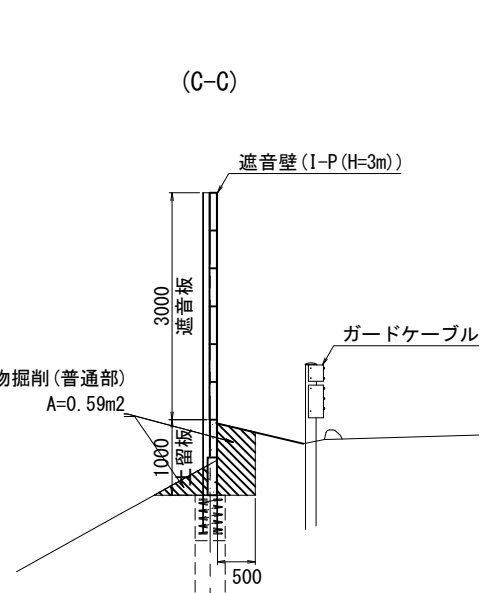
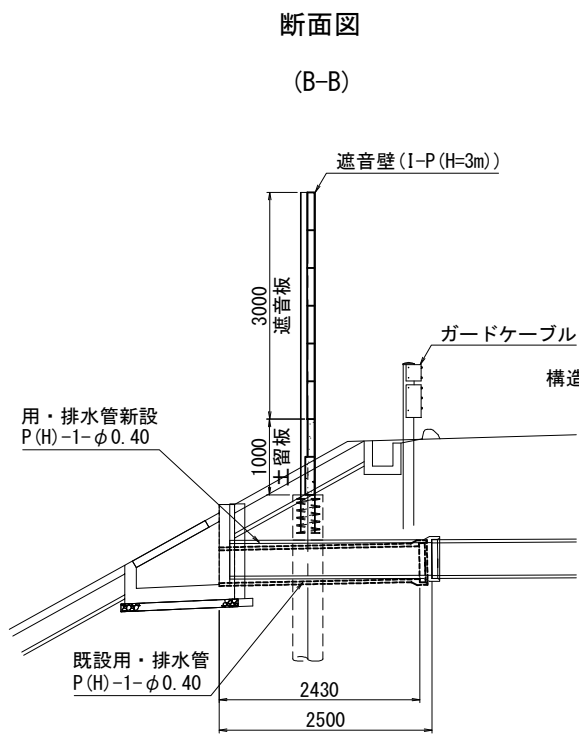
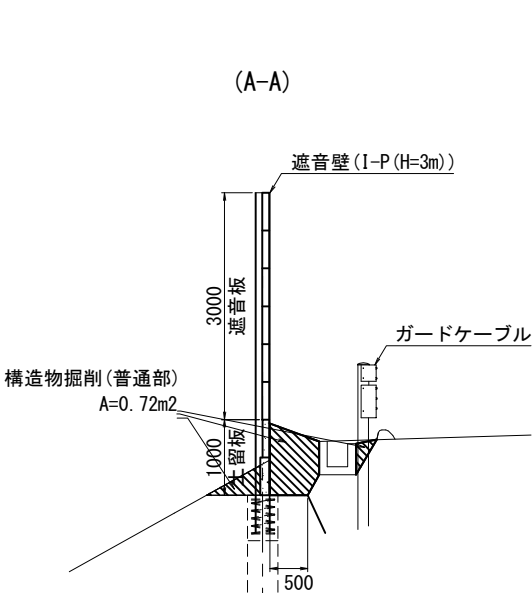
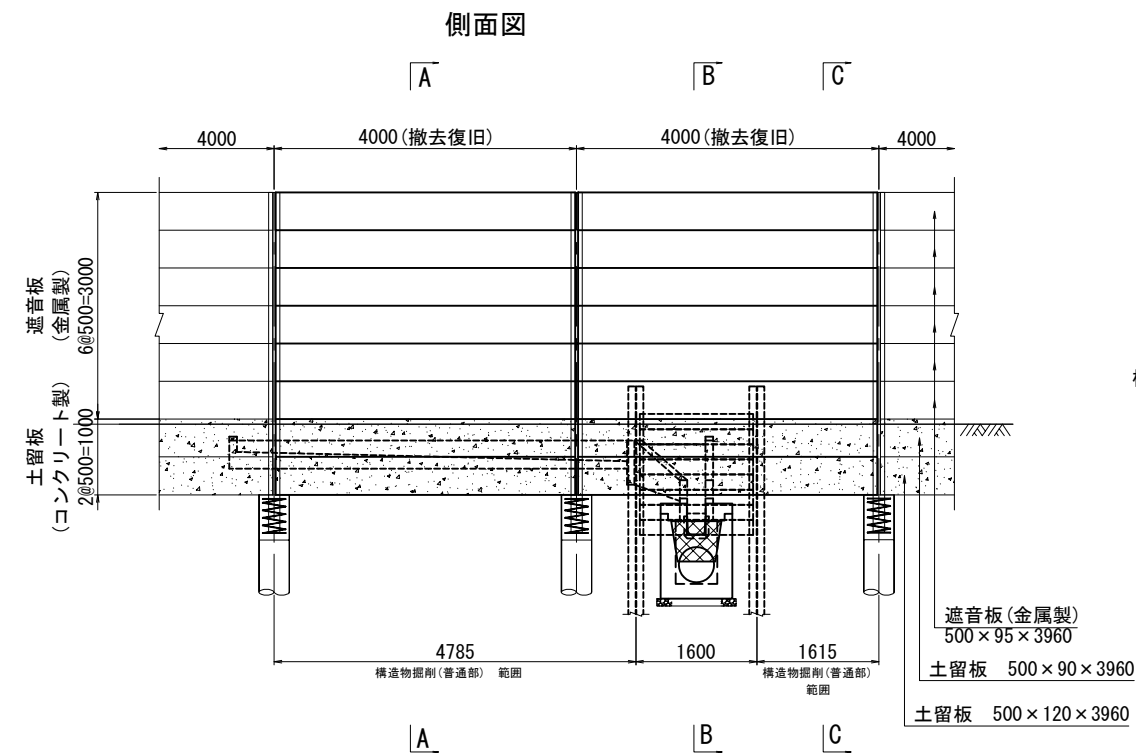


件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.107 詳細図(2) (上) KP293.26		
縮尺	図示	図面番号	29 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

No. 107 詳細図(3)  
(上) KP293.26

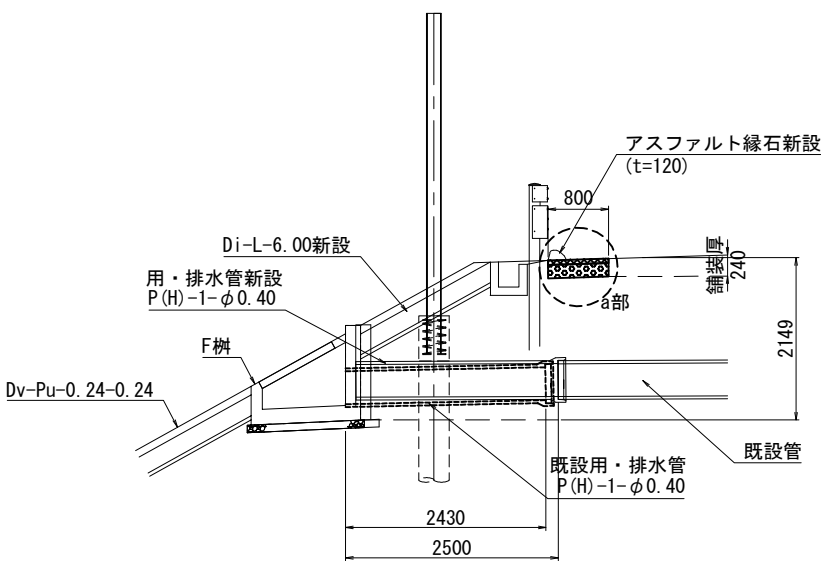
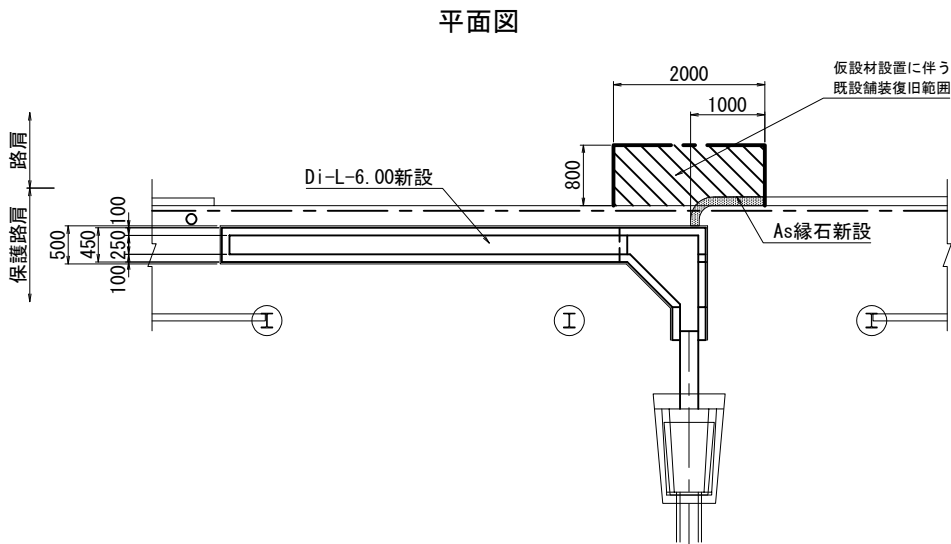
管布設替工詳細図(2)

遮音壁 S=1:100

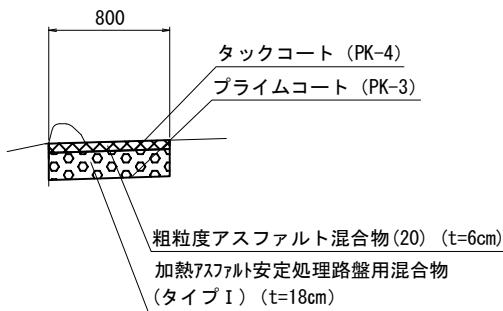


用排水工・舗装工 S=1:100

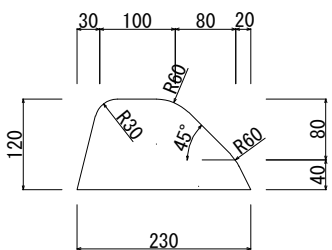
断面図



a部詳細図



アスファルト縁石 詳細図

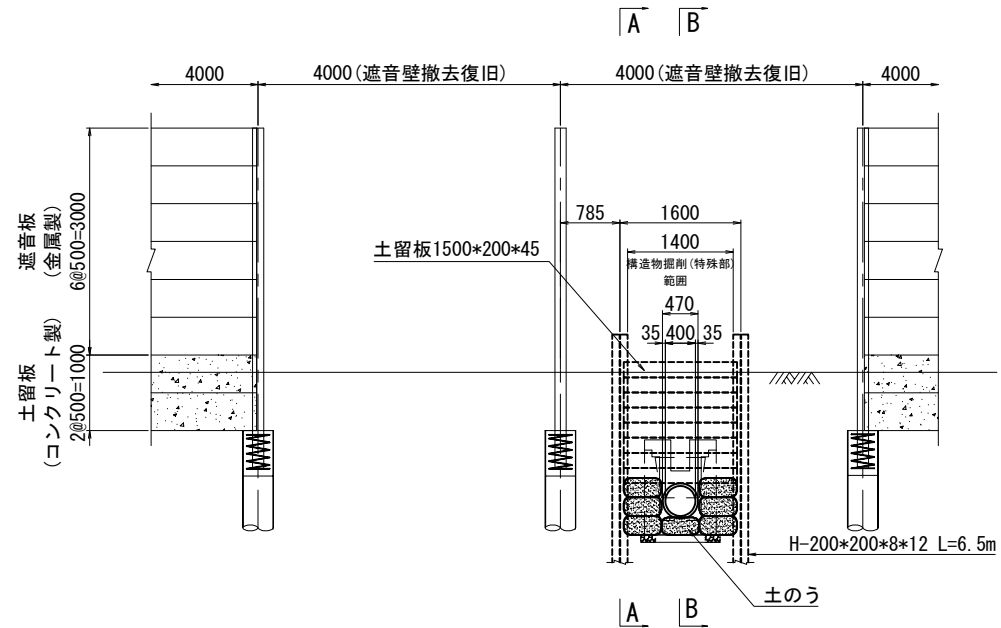


件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.107 詳細図(3) (上) KP293.26		
縮尺	1:100	図面番号	30 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

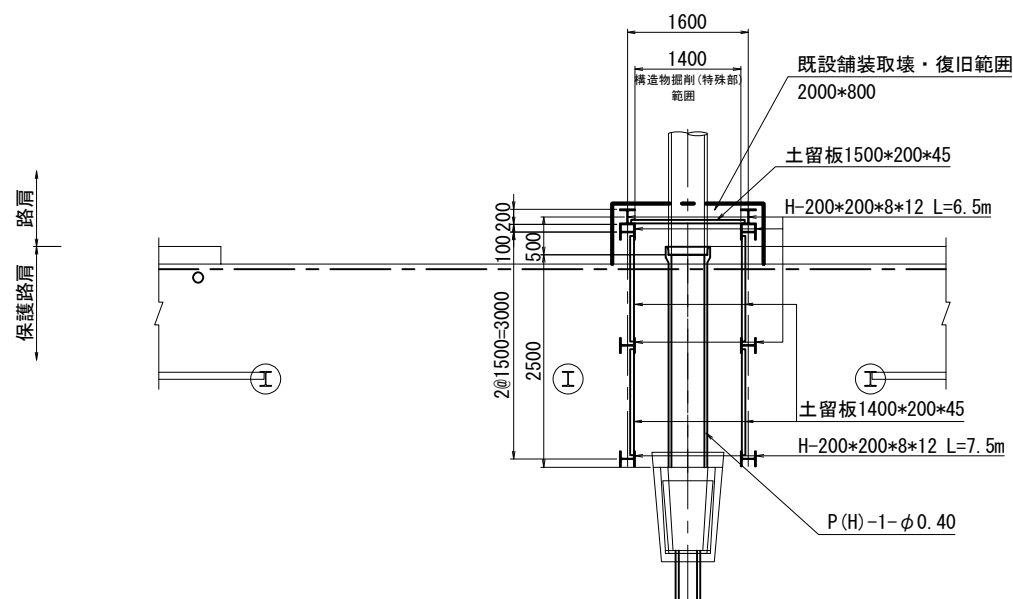
No. 107 詳細図(4)  
(上) KP293.26  
管布設替工詳細図(3)

仮設材 S=1:100

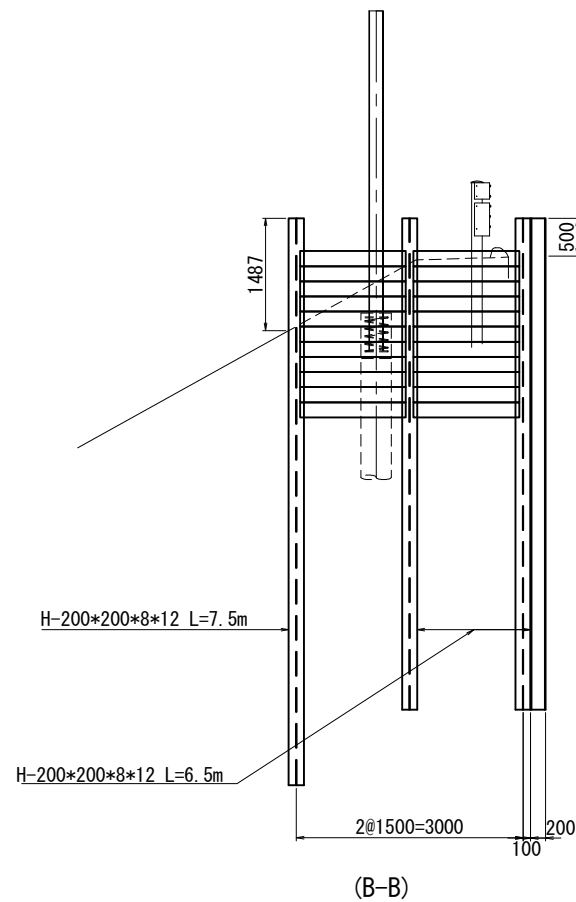
側面図



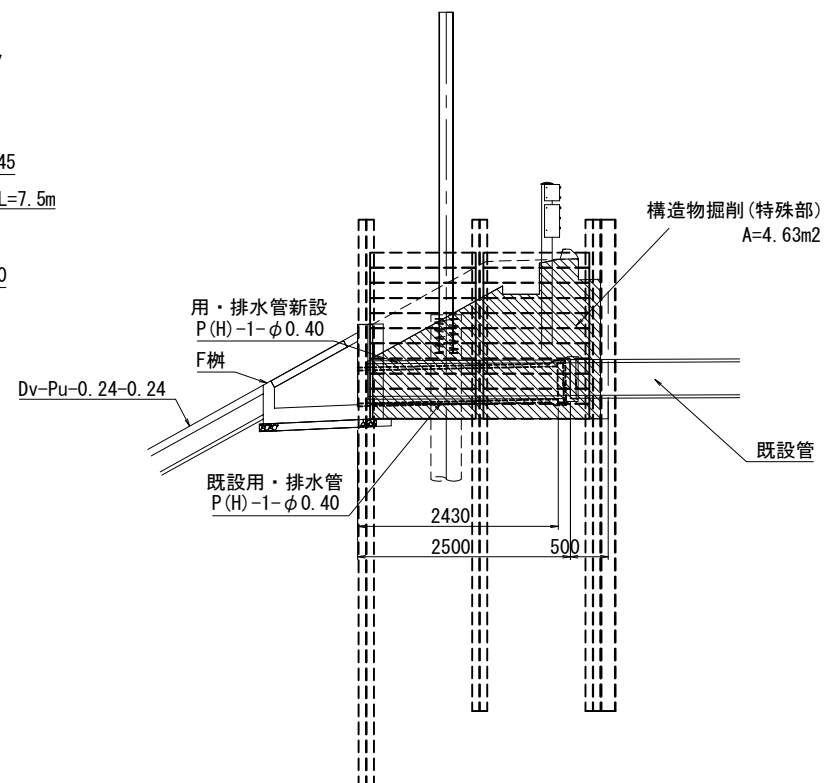
平面图



断面図  
(A-A)



(B-B)



管布設替工数量表

項 目	細 目	種 別	単位	数 量	備 考
仮設工					
構造物掘削	特殊部（仮設材設置含む）	掘削	m3	6.1	土砂B 既設用・排水管撤去 用・排水管は数量から控除
土のう工		62*48	袋	23	
仮設防護柵工	仮設ガードレール	L=5.0m	基	6	609 (kg/基)
撤去工					
構造物掘削	普通部	掘削	m3	4.4	土砂B 遮音壁及び既設用・排水溝撤去
遮音壁	金属製（遮音板）	500*95*3960	枚	12	50 (kg/枚)
	コンクリート製（土留板）	500*90*3960	枚	2	446 (kg/枚)
		500*120*3960	枚	2	594 (kg/枚)
防護柵撤去設置工	ガードケーブル	支柱	本	1	撤去
復旧工					
構造物掘削	普通部	埋戻し	m3	4.4	掘削土使用 遮音壁及び用排水溝の呑口・吐口埋戻し
	特殊部（仮設材撤去含む）	埋戻し	m3	6.1	掘削土使用 用・排水管理戻し
用・排水構造物工	用・排水管 用排水溝の呑口・吐口	P(H)-1-φ0.40 Di-L-6.00	m 箇所	2.4	新設 新設
舗装工	粗粒度アスファルト混合物(20)	t=60	m <sup>2</sup>	1.6	
	加熱アスファルト安定処理路盤用混合物	t=180	m <sup>2</sup>	1.6	タイプ I
瀝青材散布	タックコート	PK-4	L	0.3	
	プライムコート	PK-3	L	1.3	
遮音壁	金属製（遮音板）	500*95*3960	枚	12	再利用
	コンクリート製（土留板）	500*90*3960	枚	2	再利用
		500*120*3960	枚	2	再利用
防護柵撤去設置工	ガードケーブル	支柱	本	1	再利用
縁石工	アスファルト縁石	t=120	m	1.0	新設
土のう工		62*48	袋	23	撤去
仮設防護柵工	仮設ガードレール	L=5.0m	基	6	撤去

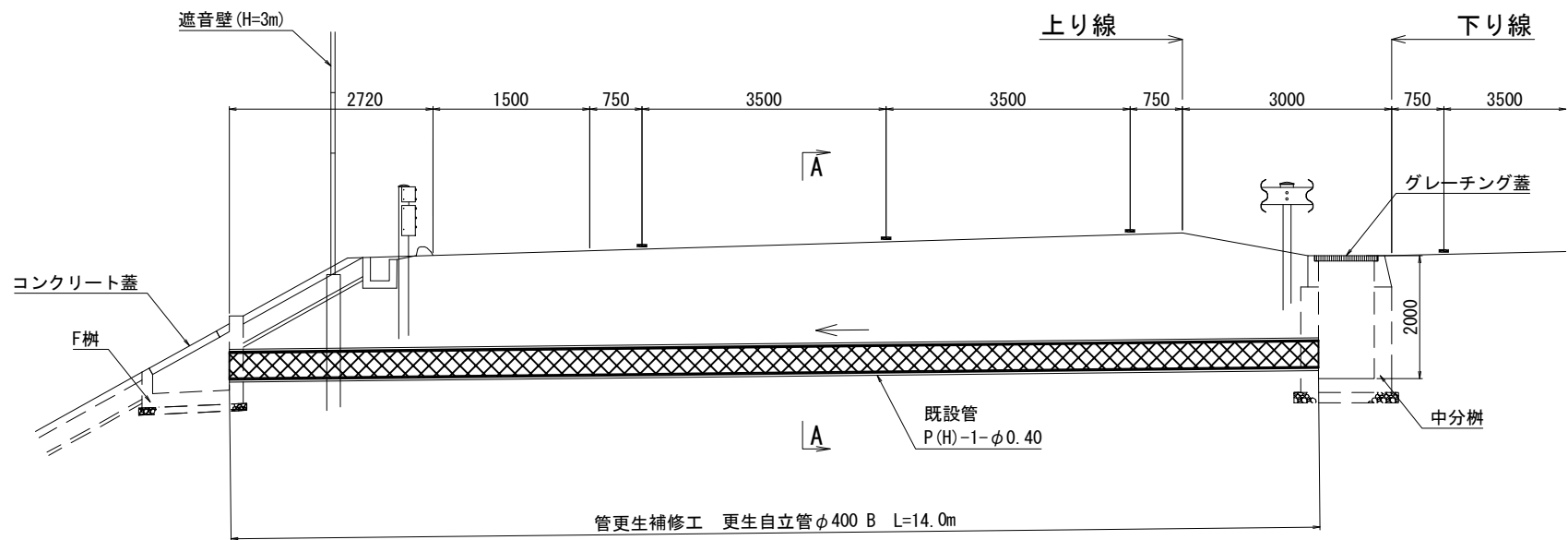
仮設材材料表

項 目	種 別	形 狀	單位	數量	備考
H鋼(H-200)	200*200*8*12	L=6.5m	本	6	
打込(引拔)長 L=6.0m		L=7.5m	本	2	
土留板(木材)	1400*200*45		枚	44	
	1500*200*45		枚	8	

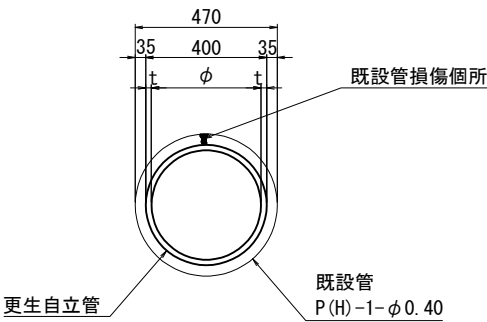
件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.107 詳細図(4) (上) KP293.26		
縮 尺	図 示	図面番号	31 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

No. 107 詳細図(5)  
(上) KP293.26  
管更生補修工

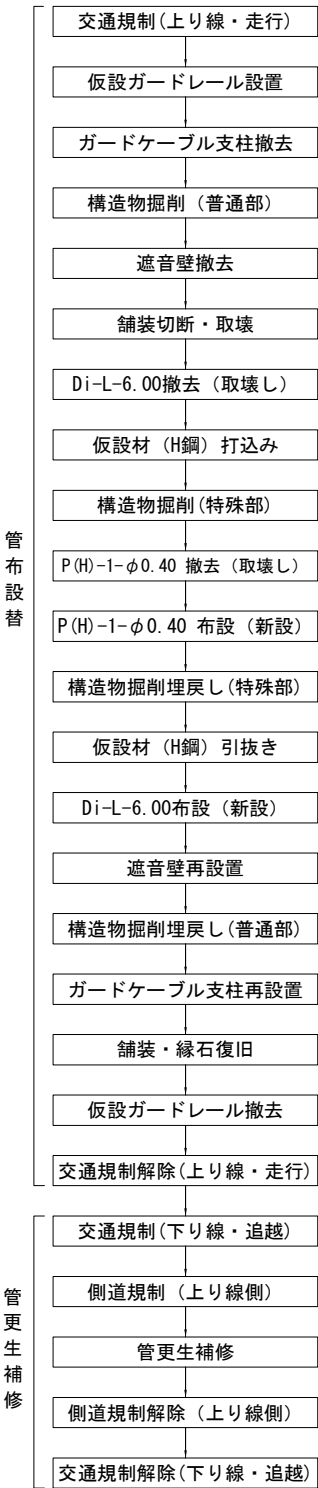
横断図 S=1:100



断面図 S=1:25  
(A-A)



No. 107 施工フロー(参考)

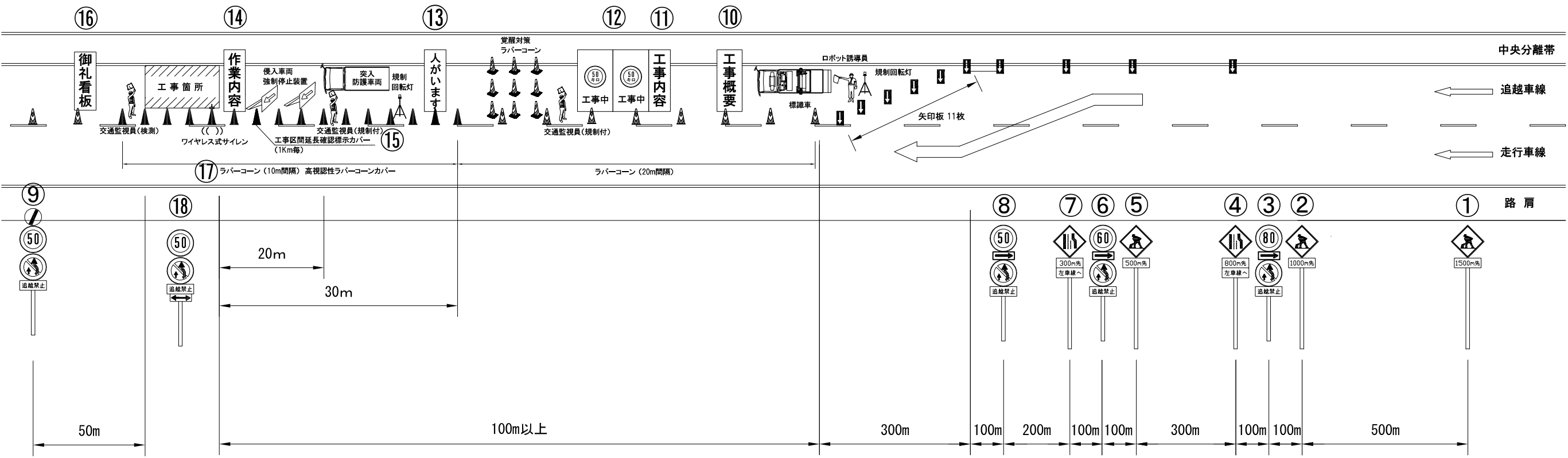


件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	No.107 詳細図(5) (上) KP293.26		
縮尺	図示	図面番号	32 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



# 交通規制図(1) 車線規制 昼間 追越(福島県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。



## 規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑨、⑬	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	15	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーパー部、工事箇所手前	2	基	○		
ロボット誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターラインにて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑯規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
高視認性ラバコンカバー		図中番号⑰ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(1) 車線規制 昼間 追越(福島県)		
縮尺	—	図面番号	33 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～④、⑩	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～④、⑩の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	18	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標識板	画面サイズW650×H1300程度	テーパー部	1	基	○		
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカパー等	図中番号⑰規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコンカパー		図中番号⑱ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

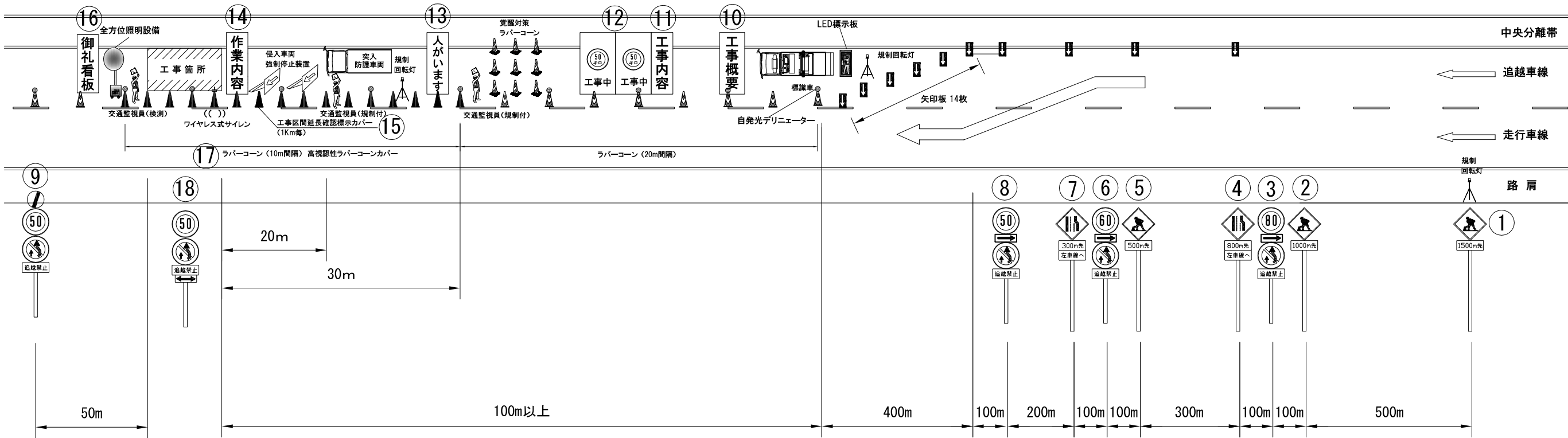
件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(2) 車線規制 夜間 走行(福島県)		
縮 尺	一	図面番号	34 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

# 交通規制図(3)

## 車線規制 夜間 追越(福島県)

## 車線規制(昼夜連続) 追越(福島県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。



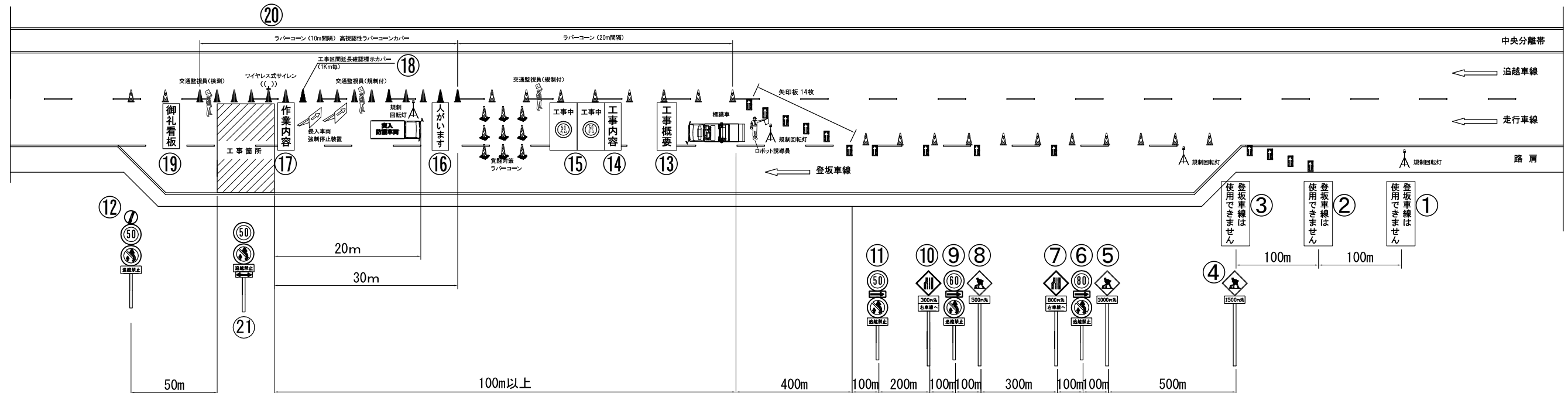
規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑨、⑬	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑨、⑬の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーバー部、図中番号④⑤⑦⑧	18	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	図中番号①手前、テーバー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標示板	画面サイズW650×H1300程度	テーバー部	1	基	○		
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場突入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑯規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ 分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコーンカバー		図中番号⑰ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(3) 車線規制 夜間 追越(福島県) 車線規制(昼夜連続) 追越(福島県)		
縮 尺	—	図面番号	35 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制図(4)  
車線規制(S) 昼間 走行(福島県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。



## 規制材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
登坂車線使用制限看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号①～③	3	枚	○		
規制標識	高輝度反射	図中番号④～⑫、⑯	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑦⑧⑩⑪	22	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所手前	3	基	○		
ロボット誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑲規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
高視認性ラバコンカバー		図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(4) 車線規制(S) 昼間 走行(福島県)		
縮 尺	一	図面番号	36 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

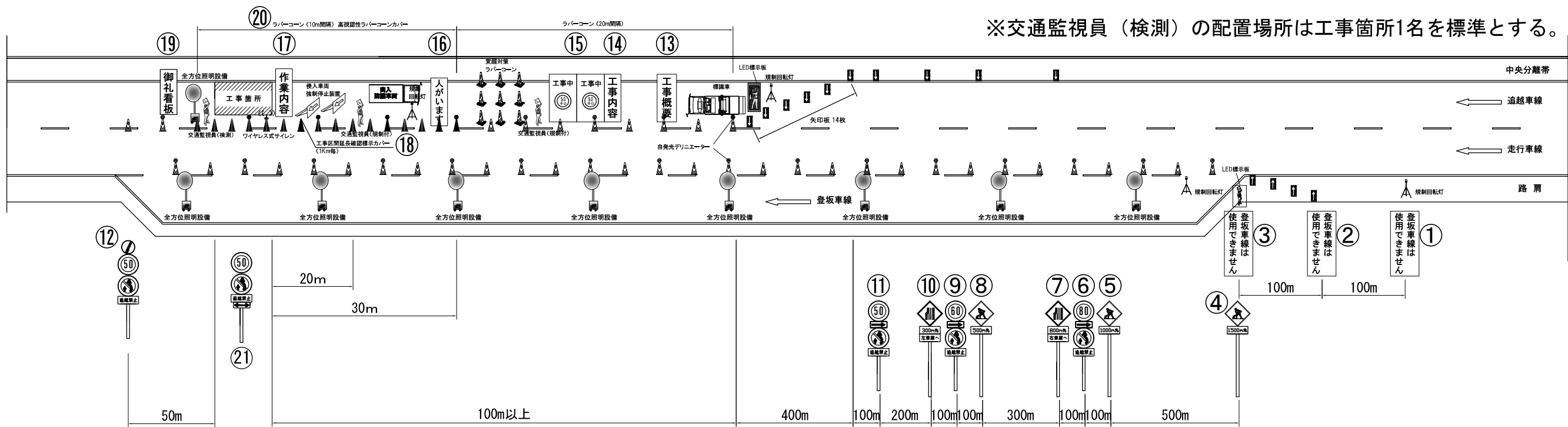
[illegible]

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
登坂車線使用制限看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号①～③	3	枚	○		
規制標識	高輝度反射	図中番号④～⑫、⑯	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑫、⑯の標識、看板頭部に設置	12+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑦⑧⑩⑪	22	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	－	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標示板	画面サイズW650×H1300程度	テーパー部	2	基	○		
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	－	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	－	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	－	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	－	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑲規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコーンカバー		図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(5) 車線規制(S) 夜間 走行(福島県)		
縮 尺	一	図面番号	37 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

# 交通規制図(6)

## 車線規制(S) 夜間 追越(福島県)

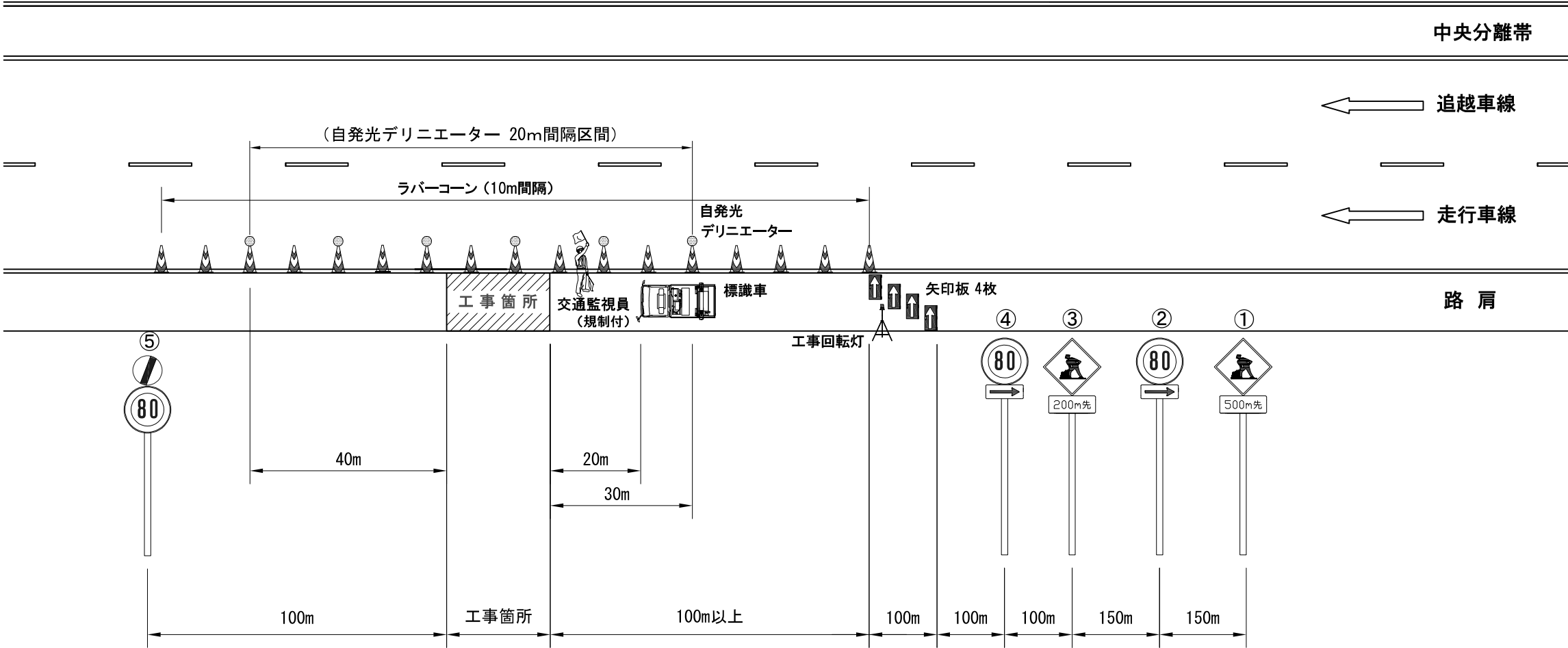


規制材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
登坂車線使用制限看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号①～③	3	枚	○		
規制標識	高輝度反射	図中番号④～⑫、⑭	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑫、⑭の標識、看板頭部に設置	12+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑦、⑧、⑩、⑪	22	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯 (三脚付)	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標示板	画面サイズW650×H1300程度	テーパー部	2	基	○		
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑲規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコンカバー		図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(6) 車線規制(S) 夜間 追越(福島県)		
縮 尺	—	図面番号	38 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制図(7)  
路肩規制(昼夜連続)(福島県)

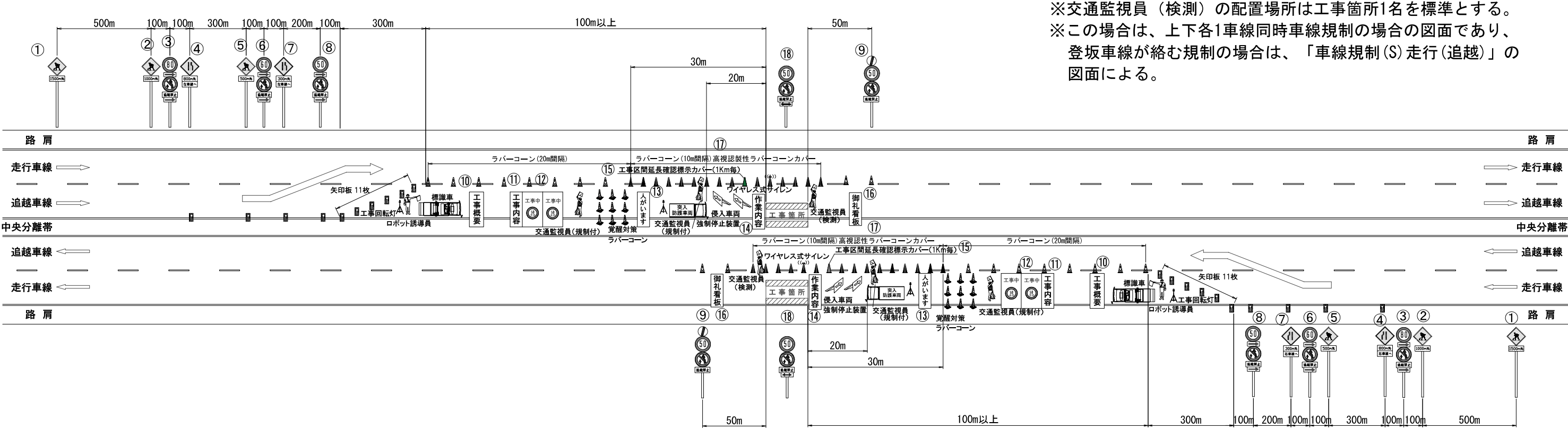


規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑤	5	枚		○	※追越車線同方向同時規制時は ①～⑤の標識を裏返す
矢印板	高輝度反射	テーパー部	4	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯 (三脚付)	—	テーパー部、工事箇所手前	2	基	○		
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間10m間隔	必要数	本		○	
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(7) 路肩規制(昼夜連続)(福島県)		
縮 尺	—	図面番号	39 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

# 交通規制図(8) 車線規制 昼間 上下各 1車線 同時規制(福島県)



※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。  
※この場合は、上下各1車線同時車線規制の場合の図面であり、  
登坂車線が絡む規制の場合は、「車線規制(S) 走行(追越)」の  
図面による。

## 規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑧、⑬	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	15	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーパー部、工事箇所手前	2	基	○		
ロボット誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑰規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
高視認性ラバコンカバー	—	図中番号⑱ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

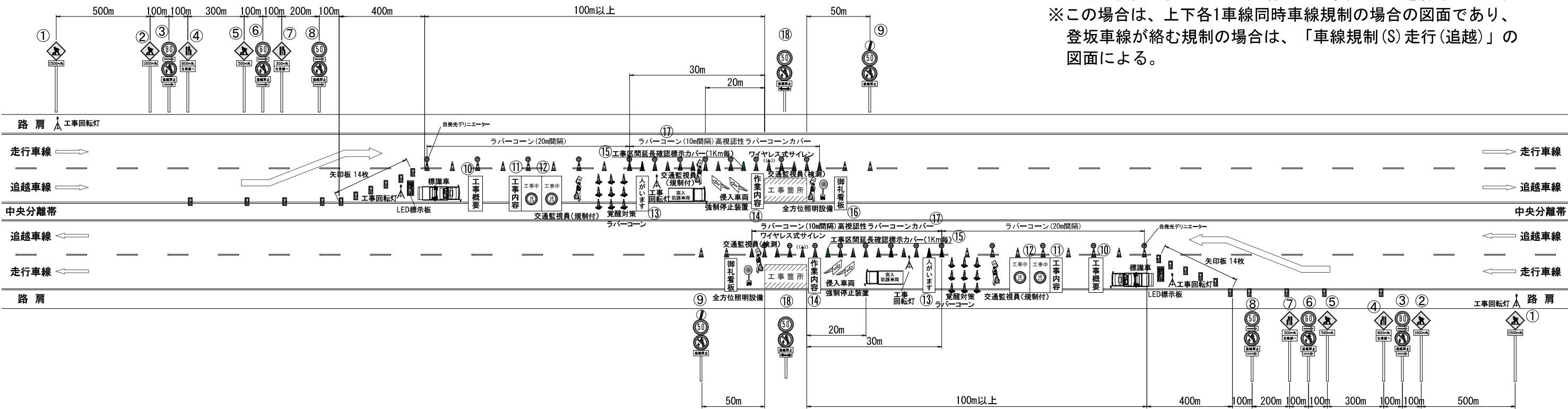
※数量は1車線（方向）規制単位のもの。

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(8) 車線規制 昼間 上下各 1車線 同時規制(福島県)		
縮 尺	—	図面番号	40 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



交通規制図(9)  
車線規制 夜間 上下各 1車線  
同時規制(福島県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。  
※この場合は、上下各1車線同時車線規制の場合の図面であり、  
登坂車線が絡む規制の場合は、「車線規制(S) 走行(追越)」の  
図面による。



規制機材等区分表

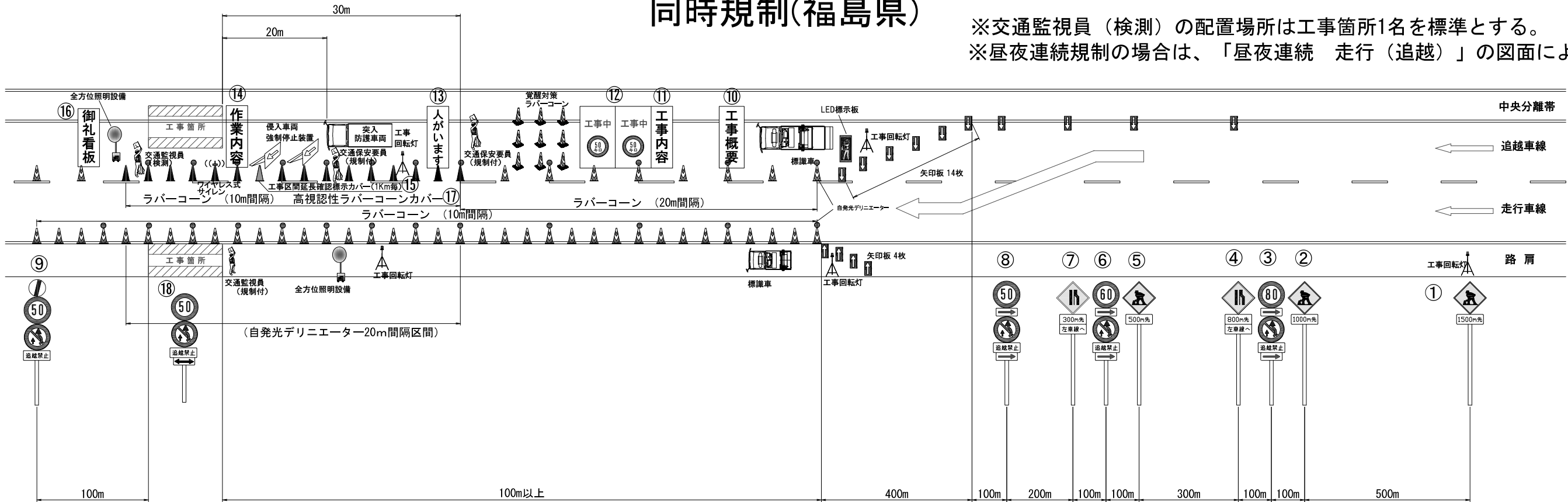
項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～④、⑩	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～④、⑩の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーバー部、図中番号④⑤⑦⑧	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	図中番号①手前、テーバー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標示板	画面サイズW650×H1300程度	テーバー部	1	基	○		
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑯規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ・分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコーンカバー		図中番号⑰ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

※数量は1車線（方向）規制単位のもの。

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(9) 車線規制 夜間 上下各 1車線 同時規制(福島県)		
縮 尺	—	図面番号	41 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制図(10)  
車線規制 夜間 追越・路肩同方向  
同時規制(福島県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。  
※昼夜連続規制の場合は、「昼夜連続 走行（追越）」の図面による。



規制機材等区分表(車線規制)

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	國中番号①～⑨、⑪	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		國中番号①～⑨、⑪の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーバー部、國中番号④⑤⑦⑧	18	枚	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	國中番号①手前、テーバー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標示板	画面サイズW650×H1300程度	テーバー部	1	基	○		
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターラインにて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターラインにて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	國中番号⑯規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコンカバー		國中番号⑰ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

規制機材等区分表(路肩規制)

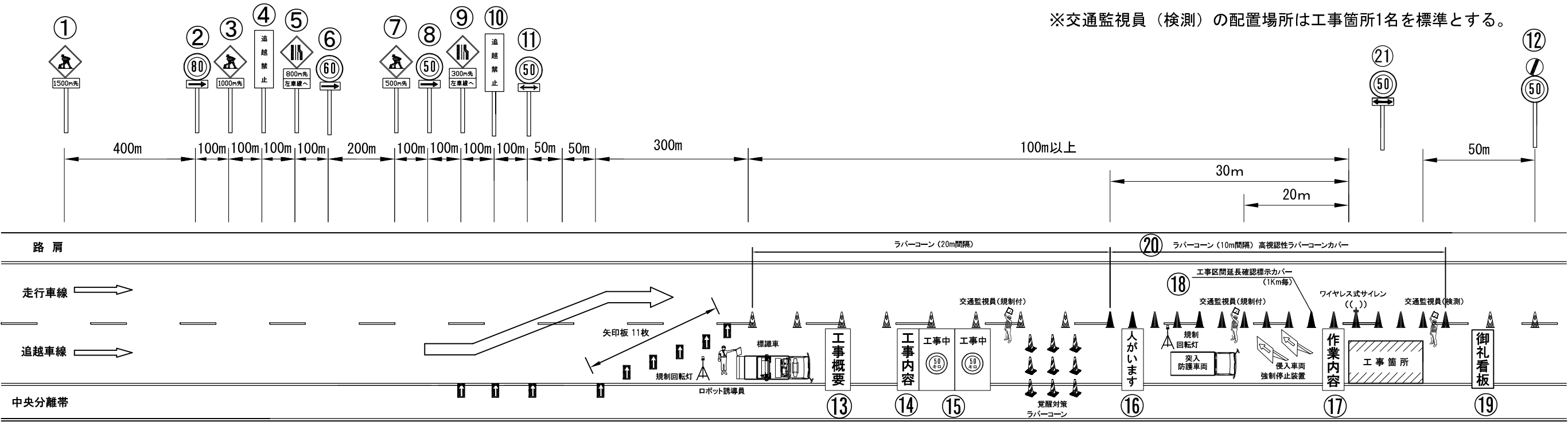
項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
矢印板	高輝度反射	テーバー部	4	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーバー部、工事箇所手前	2	基	○		
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間10m間隔	必要数	本		○	
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターラインにて施工する区間は20m間隔にて設置
全方位照明設備（注）	0.4KW以上	工事箇所手前	1	基	○		

件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(10) 車線規制 夜間 追越・路肩同方向 同時規制(福島県)		
縮尺	—	図面番号	42 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

# 交通規制図(11)

## 車線規制 昼間 追越(宮城県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。



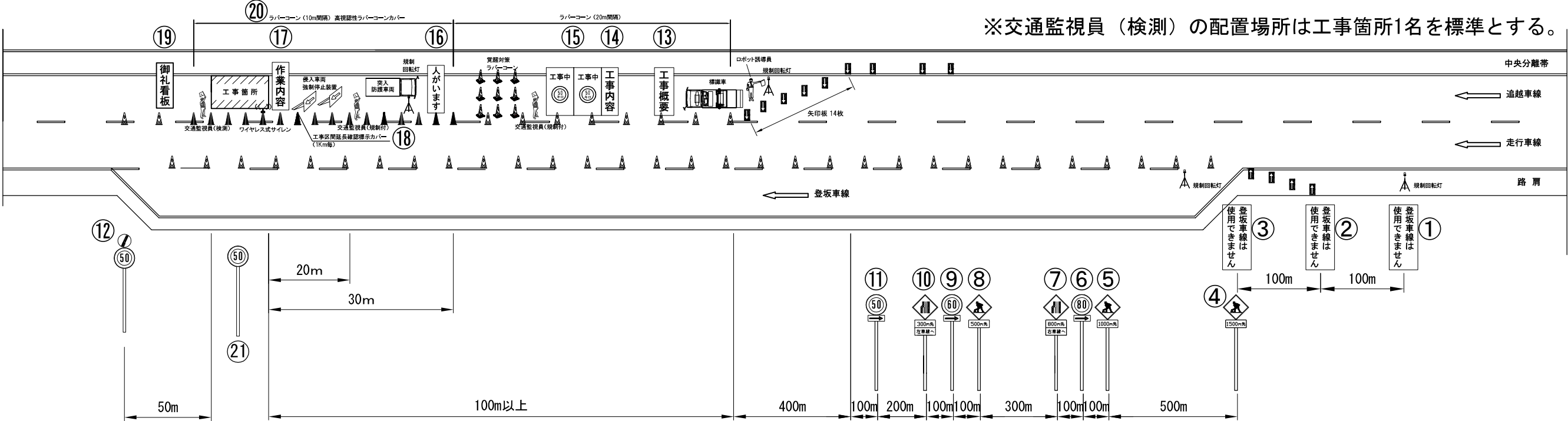
規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑫、⑭	12+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパ一部、図中番号⑨、⑩、⑪	14	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーパ一部、工事箇所手前	2	基	○		
ロボット誘導員	—	テーパ一部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑲規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
高視認性ラバコンカバー		図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(11) 車線規制 昼間 追越(宮城県)		
縮 尺	—	図面番号	43 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

# 交通規制図(12)

## 車線規制(S) 昼間 追越(宮城県)



規制材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
登坂車線使用制限看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号①～③	3	枚	○		
規制標識	高輝度反射	図中番号④～⑫、⑰	9+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパ一部、図中番号⑨⑩⑪	21	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	図中番号①手前、テーパ一部、工事箇所手前	3	基	○		
ロボット誘導員	—	テーパ一部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑱規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
高視認性ラバコンカバー		図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(12) 車線規制(S) 昼間 追越(宮城県)		
縮 尺	—	図面番号	44 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



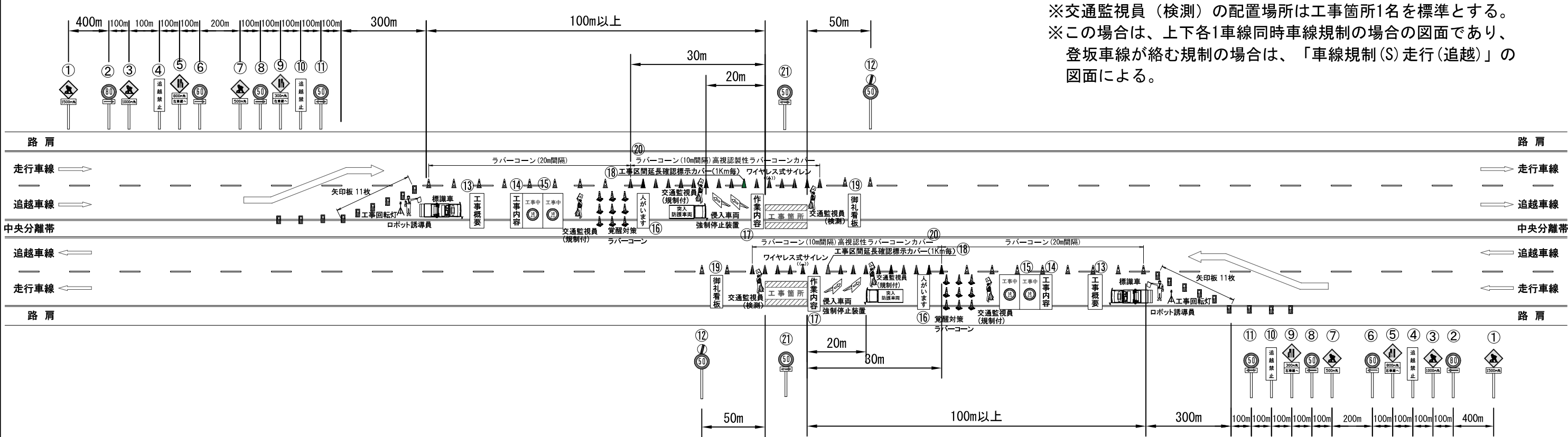


項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑬、㉔	14+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑬、㉔の頭部に設置	14+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑪⑫⑬	17	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーパー部、工事箇所手前	3	基	○		
LED標示板	画面サイズW650×H1300程度	テーパー部	1	基	○		
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号㉑	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号㉒	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号㉓規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分枝案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバコンカバー		図中番号㉔ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(13) 車線規制(昼夜連続) 走行(宮城県)		
縮 尺	一	図面番号	45 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

# 交通規制図(14)

## 車線規制 昼間 上下各1車線 同時規制(宮城県)



※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。  
※この場合は、上下各1車線同時車線規制の場合の図面であり、  
登坂車線が絡む規制の場合は、「車線規制(S) 走行(追越)」の  
図面による。

## 規制機材等区分表

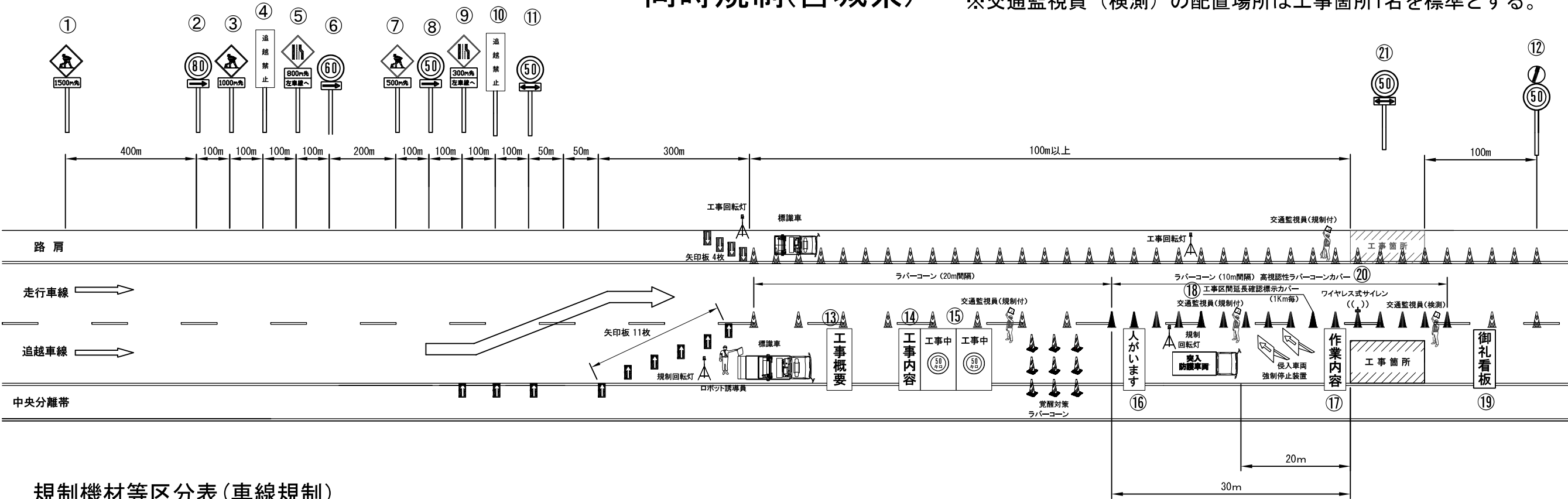
項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑪、⑭	12+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパ一部、図中番号⑨⑩⑪	14	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーパ一部、工事箇所手前	2	基	○		
ロボット誘導員	—	テーパ一部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標識	ラバコンカバー等	図中番号⑲規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
高視認性ラバコーンカバー		図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

※数量は1車線（方向）規制単位のもの。

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(14) 車線規制 昼間 上下各1車線 同時規制(宮城県)		
縮 尺	—	図面番号	46 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制図(15)  
車線規制 昼間 追越・路肩同方向  
同時規制(宮城県)

※交通監視員（検測）の配置場所は工事箇所1名を標準とする。



規制機材等区分表(車線規制)

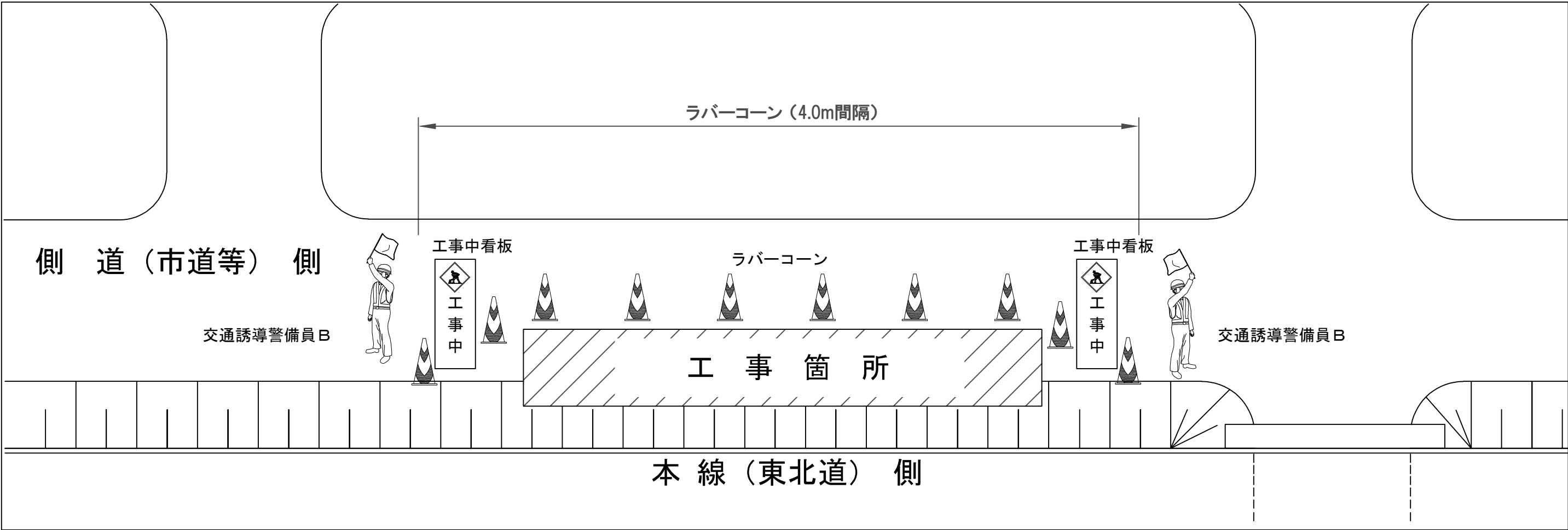
項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑫、⑭	12+N※	本		○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーバー部、図中番号⑨・⑩・⑪	14	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーバー部、工事箇所手前	2	基	○		
ロボット誘導員	—	テーバー部	1	基		○	
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本		○	センターラインにて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所手前	9	本		○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4 t 車程度を配置	工事箇所手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバコンカバー等	図中番号⑲規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置（分流部を含む場合）	2	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
高視認性ラバコンカバー	—	図中番号⑳ラバコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

規制機材等区分表(路肩規制)

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
矢印板	高輝度反射	テーバー部	4	枚	○		飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯（三脚付）	—	テーバー部、工事箇所手前	2	基	○		
標識車	2 t 車	規制起点部	1	台		○	
ラバコーン	—	規制区間10m間隔	必要数	本		○	

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制図(15) 車線規制 昼間 追越・路肩 同方向同時規制(宮城県)		
縮 尺	—	図面番号	47 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通誘導警備員配置図(1) 片側交互通行

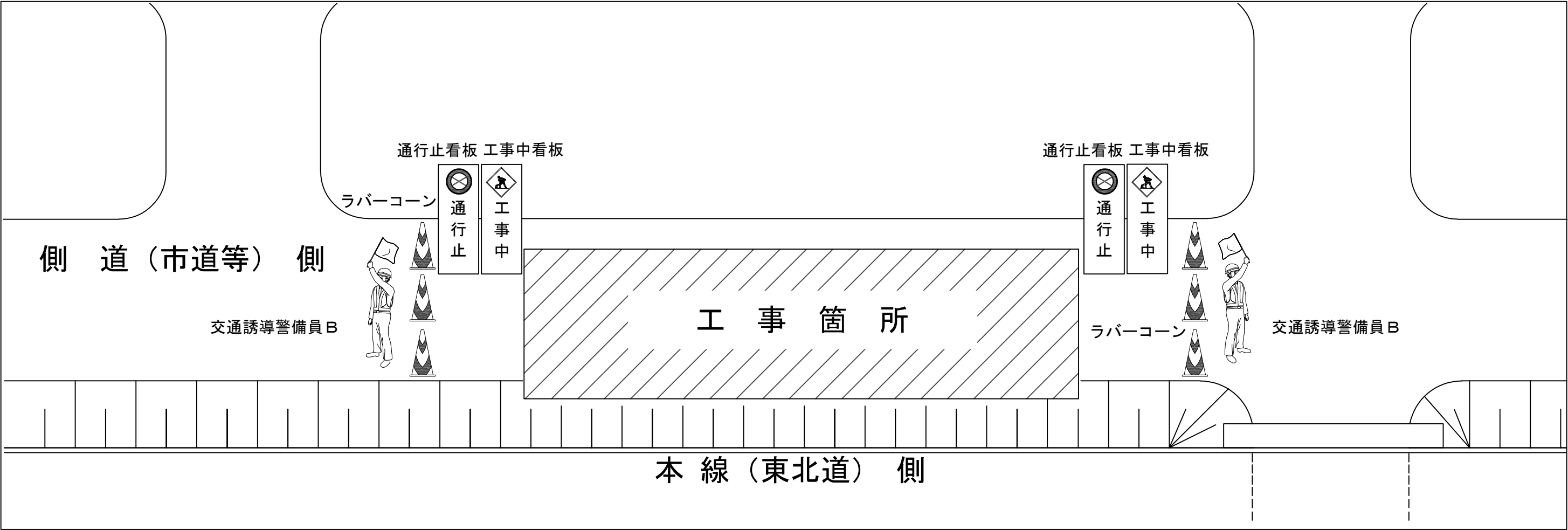


※規制材は諸経費に含むものとする。

件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通誘導警備員配置図(1) 片側交互通行		
縮尺	図示	図面番号	48 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



交通誘導警備員配置図(2) 通行止



※規制材は諸経費に含むものとする。

件名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通誘導警備員配置図(2) 通行止		
縮尺	図示	図面番号	49 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制工 数量表

①管修繕工・管更生補修工（事前処理）

No	上下区分	区間	KP	上流側規制	下流側規制	規制種別	交通保安要員			備 考
							種別	人数	適用	
2	下	本宮IC	223.25	㊤追越	－	I × 1 × 0(Y)	A1(Y)	1		管修繕工
23	上	二本松IC～福島西IC	237.75	－	㊦追越	Ⅲ × 1 × 0(S)(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
25	下		238.91							管更生補修工
28	下		239.89	㊤追越	－	I × 1 × 0(Y)	A1(Y)	1		管更生補修工
42	上		243.49	㊦追越	－	Ⅲ × 1 × 0(S)(Y)	A1(Y)	1		管更生補修工
113	下		248.69	㊦追越	－	Ⅲ × 1 × 0(Y)	A1(Y)	1		管更生補修工
58	下		249.33	㊦追越	－	Ⅲ × 1 × 0(Y)	A1(Y)	1		管更生補修工
61	上		252.86	㊤走行	－	I × 1 × 0(Y)	A1(Y)	1		管更生補修工
69	下	桑折JCT～国見IC	274.58	㊤追越	－	I × 1 × 0	A2	1		管更生補修工
70	下		274.68							管更生補修工
79	上	国見IC～白石IC	278.74	㊦追越	－	I × 1 × 0	A1	1		管更生補修工
87	下		283.32	㊤追越	－	I × 1 × 0	A1	1		管更生補修工
96	下		286.92	㊦追越	－	I × 1 × 0	A1	1		管更生補修工
100	下		288.17	㊤追越	－	I × 1 × 0(S)	A1	1		管更生補修工
108	下		293.78	㊦追越	－	I × 1 × 0	A1	1		管更生補修工
111	上		294.36	㊤追越	－	Ⅱ × 1 × 0	A1	1		管更生補修工

②中央分離帯撤去復旧工

No	上下区分	区間	KP	上流側規制	下流側規制	規制種別	交通保安要員		
							種別	人数	適用
54	下	二本松IC～福島西IC	248.38	㊦追越	－	Ⅱ × 1 × 0(Y)	A1(Y)	1	撤去時
						Ⅱ × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1	復旧時

③管布設替工

No	上下区分	区間	KP	上流側規制	下流側規制	規制種別	交通保安要員		
							種別	人数	適用
107	上	国見IC～白石IC	293.26	－	㊤走行	I × 1 × 0 × 4	A3	1	1日目
							A3	1	2日目
							A1	1	3日目
							A2	1	5日目

④管修繕工・管更生補修工（本施工）※事前処理を除く

No	上下区分	区間	KP	上 流 側					下 流 側					備 考
				規制	規制種別	交通保安要員			規制	規制種別	交通保安要員			
						種別	人数	適用			種別	人数	適用	
2	下	本宮IC	223.25	㊤追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		側道	側道(通行止)	B2(Y)	2		管修繕工
5	下	本宮IC～二本松IC	224.79	㊤追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		側道	側道(通行止)	B2(Y)	2		管更生補修工
8	下		232.99	㊦追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦路肩	I × 1(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
11	上		233.58	㊦追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		側道	側道(片側交互通行)	B2(Y)	2		管更生補修工
23	上		237.75	㊤走行	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦追越	Ⅱ × 1 × 0(S)(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
25	下	二本松IC～福島西IC	238.91	側道	側道(通行止)	B2(Y)	2		㊦追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
28	下		239.89	㊤追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦走行	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
42	上		243.49	㊦追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊤走行	Ⅲ × 1 × 0(S)(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
54	下		248.38	㊦追越	Ⅱ × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦路肩	I × 1(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
55	下		248.60	㊦追越	Ⅲ × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦路肩	I × 1 × 4	A2(Y)	1	1夜間目	管更生補修工
113	下		248.69	㊦追越	Ⅲ × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦路肩		A2(Y)	1	2夜間目	管更生補修工
56	下		248.93	㊦追越	Ⅲ × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦路肩		A2(Y)	1	3夜間目	管更生補修工
58	下		249.33	㊦追越	Ⅲ × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦路肩		A2(Y)	1	4夜間目	管更生補修工
61	上		252.86	㊤走行	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		㊦追越	I × 1 × 0(Y)	A2(Y)	1		管更生補修工
69	下	桑折JCT～国見IC	274.58	㊤追越	I × 1 × 0 × 1	A5	1	1日目	側道	側道(通行止)	B5	3	1日目	管更生補修工
70	下		274.68			A1	1	2日目		側道(通行止)	B1	2	2日目	管更生補修工
73	下	国見IC～白石IC	276.92	㊤追越	I × 1 × 0	A2	1		側道	側道(通行止)	B2	2		管更生補修工
79	上		278.74	㊦追越	I × 1 × 0	A2	1		㊤走行	I × 1 × 0	A2	1		管更生補修工
80	下		280.10	㊤追越	I × 1 × 0	A2	1		㊦走行	Ⅱ × 1 × 0(S)	A2	1		管更生補修工
87	下		283.32	㊤追越	I × 1 × 0	A2	1		㊦走行	I × 1 × 0	A2	1		管更生補修工
96	下		286.92	㊦追越	I × 1 × 0	A2	1		㊦路肩	I × 1	A2	1		管更生補修工
99	下		287.86	㊦追越	I × 1 × 0	A2	1		㊦路肩	I × 1	A2	1		管更生補修工
100	下		288.17	㊤追越	I × 1 × 0(S)	A2	1		㊦走行	I × 1 × 0	A2	1		管更生補修工
102	下		288.64	㊦追越	I × 1 × 0	A2	1		側道	側道(通行止)	B2	2		管更生補修工
107	上		293.26	㊦追越	I × 1 × 0	A2	1		側道	側道(通行止)	B2	2		管更生補修工
108	下		293.78	㊦追越	I × 1 × 0	A2	1		側道	側道(通行止)	B2	2		管更生補修工
111	上		294.36	㊤追越	Ⅱ × 1 × 0	A2	1		側道	側道(通行止)	B2	2		管更生補修工

交通規制工 集計

		単位	①	②	③	④	合 計
交通規制工	路肩規制 I × 1	回	－	－	－	2	2
	路肩規制 I × 1(Y)	回	－	－	－	2	2
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 × 4	回	－	－	－	1	1
	車線規制 I × 1 × 0	回	5	－	－	12	17
	車線規制 I × 1 × 0(S)	回	1	－	－	1	2
	車線規制 I × 1 × 0(Y)	回	3	－	－	11	14
	車線規制 Ⅱ × 1 × 0	回	1	－	－	1	2
	車線規制 Ⅱ × 1 × 0(S)	回	－	－	－	1	1
	車線規制 Ⅱ × 1 × 0(Y)	回	－	2	－	1	3
	車線規制 Ⅱ × 1 × 0(S)(Y)	回	－	－	－	1	1
	車線規制 Ⅲ × 1 × 0(Y)	回	2	－	－	4	6
	車線規制 Ⅲ × 1 × 0(S)(Y)	回	2	－	－	1	3
	車線規制(昼夜連続) I × 1 × 0 × 1	回	－	－	－	1	1
	車線規制(昼夜連続) I × 1 × 0 × 4	回	－	－	1	－	1
交通保安要員	交通監視員 A1	人・日	6	－	1	1	8
	交通監視員 A1(Y)	人・日	6	1	－	－	7
	交通監視員 A2	人・日	1	－	1	17	19
	交通監視員 A2(Y)	人・日	1	1	－	24	26
	交通監視員 A3	人・日	－	－	2	－	2
	交通監視員 A5	人・日	－	－	－	1	1
	交通誘導警備員 B1	人・日	－	－	－	2	2
	交通誘導警備員 B2	人・日	－	－	－	10	10
	交通誘導警備員 B2(Y)	人・日	－	－	－	8	8
	交通誘導警備員 B5	人・日	－	－	－	3	3

件 名	東北自動車道 R6福島管内横断管補修工事		
図面の種類	交通規制工 数量表		
縮 尺	－	図面番号	50 / 56
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		